

令和5年度 加東市 認知症地域支援推進員活動報告

認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：5名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ★認知症の相談支援
 - ★認知症の早期発見・早期支援
 - ★認知症の人、その家族の居場所づくり
 - 認知症カフェ・絆カフェの支援
 - 若年性認知症の当事者・家族の会の活動支援
 - ★地域における支援体制の強化
 - 認知症サポーター養成講座
 - 認知症高齢者の見守り・SOSネットワークの構築

報告者氏名：高濱さおり・羽馬里恵・浅田玲子・武田大基・青野真理子

【加東市】 認知症施策全体図

認知症ケアネットと
相談支援体制

○認知症相談センター

認知症の早期発見
・ 早期支援

○物忘れ相談プログラム
○認知症初期集中支援事業

認知症の人とその
家族への支援

○認知症家族介護者のつどい
○物忘れ予防カフェ

地域における支援
体制の強化

○認知症サポーター養成講座
○ひとり外出見守り・SOSネットワーク



ひとり外出見守り・SOSネットワーク会議

- 認知症高齢者の見守り、SOSネットワークの充実に向けた取組として、シニアクラブの活動紹介を行いました。

本人の思い、地域の方のあたたかさ、見守りを感じた

地域との連携、協力できる体制をつくっていきたい



標題) 認知症とともに生きる地域 ～シニアクラブの活動から～

シニアクラブの活動を視察しました。そこには、本人のつぶやきと、周囲の自然な見守りの目がありました。

あるシニアクラブの活動です。ここには認知症の方も参加されています。

グランドゴルフでは、ときどき打順がわからないときや点付けができにくくなっているときもあります。→わかる人が点付けをしたり、周囲の人が「次やで、どうぞ」と声掛けをしていました。

帰るときにも「よ一気を付けて帰ってよ」とメンバーが声掛けをしていました。そして距離をおきながら緩やかに見守ります。

〇〇さん、
今日は来てないな。



わいわい言いながら
するのがええんや

グランドゴルフ

標題) 認知症とともに生きる地域 ～シニアクラブの活動から～

グランドゴルフのほか、奉仕活動や健康麻雀・茶話会があります。
活動場所へは自転車で行かれますが、公民館へ行くときに、道を間違えることがよくあります。GPSを所持しているのでメンバーが家族へ連絡を取り、搜索します。
将棋の腕前もお見事でした！

奉仕作業のあと、公民館へ移動します




健康麻雀



標題) 認知症とともに生きる地域

～シニアクラブの活動から～

 視察したシニアクラブの活動方針のひとつに、「**組織の中で孤立する人を絶対に出さない工夫をする**」とありました。距離をとり見守ることなどを意識し、自然な助け合いができることで、いつまでも地域で過ごすことができると感じました。

 最後に…

地域の古い認知症観はまだまだ根強いもので、認知症観の変換がこれからも必要だと感じます。**認知症の本人の声に耳を傾けながら、地域の認知症に対する理解への普及啓発**を引き続き行っていきたいです。そして、地域のキーパーソンや既存の社会資源を活用しながら、チームオレンジ活動につながる支援に取り組んでいきたいです。